



08.

未来社会の 実験場

No4_健康・医療
(ライフサイエンス)

大阪・関西万博では、世界最高水準の医療・ヘルスケアサービスの提供に資する研究開発及び新産業創出を推進し、それらを会場内外で実装し、国内外に向けて発信することで、健康・医療の質の向上に寄与し、健康な生活及び長寿を享受することのできる持続可能な社会を形成することを目指す。具体的には、再生細胞医療をはじめとするライフサイエンスやヘルスケアサービス等の取組みに関する展示や体験、発信を行う。

再生・細胞医療・遺伝子治療分野の情報発信

> 方針・実施概要

再生・細胞医療等の実用化に向けて、臨床研究支援・実用化のための技術的支援・人材教育の体制強化・マッチング支援・イベント開催等に取り組み、再生・細胞医療等に関する革新的な研究開発について、万博会場内外で効果的な情報発信を行う。

具体的には、会場内において、その時点で再生医療実用化研究事業において支援している研究のうち見た目にもわかりやすい細胞医療の技術（例：3Dバイオプリンター）を用いた細胞加工物の製造の展示を行う。

> 実装に向けた検討状況

（実施期間）開催期間中

（実施場所）会場内外のいずれかのエリア

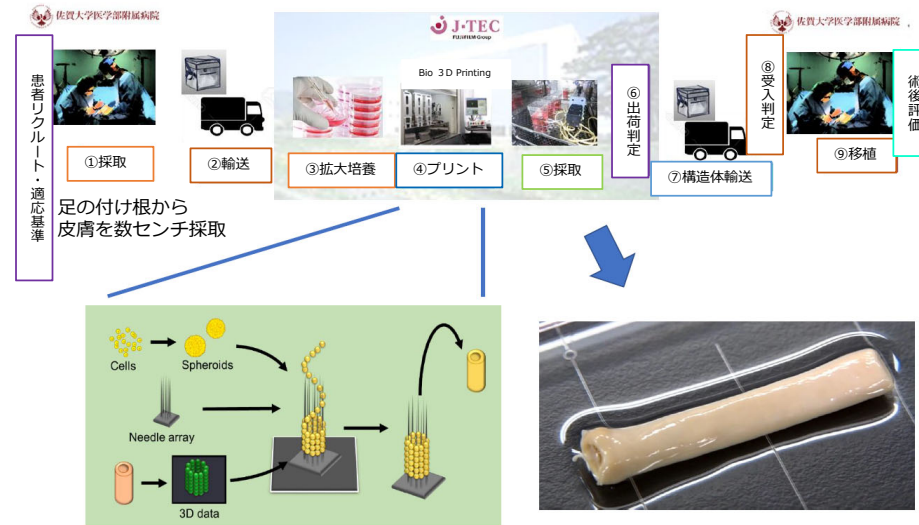
（実施主体）検討中

（予算）令和4年度予算額：2,712,244千円（関連事業「再生医療実用化研究事業」の予算額）

(<https://www.amed.go.jp/program/list/13/01/002.html>)

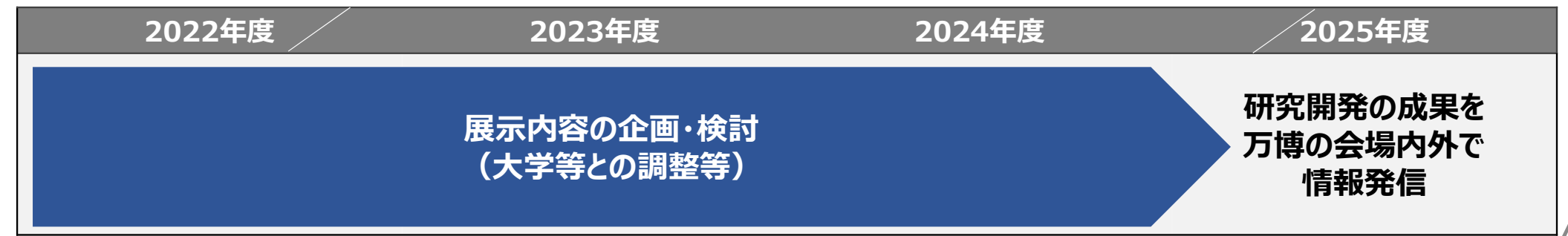
令和4年度予算額：390,672千円（関連事業「再生医療実用化基盤整備促進事業」の予算額）

(<https://www.amed.go.jp/program/list/13/01/09.html>)



バイオ3Dプリンタで作製した人工血管

> 工程表



医療機器等における先進的研究開発・ 開発体制強靱化事業の採択者による体験コーナー

> 方針・実施概要

福祉用具の開発事業で採択した製品の体験コーナー等を設置し、最新の福祉用具に触れ、その魅力を体感してもらう。

【取組イメージ】

- 自動運転による施設観覧（例1）
- 排泄予測デバイスの体験（例2）

> 実装に向けた検討状況

（実施期間） 検討中

（実施場所） 検討中

（実施主体） 検討中

（予算） 令和4年度予算額：4,175百万円の内数

（例1） 自動運転による施設観覧

● 具体的な取組内容

- ・ 自動運転機能を備えた電動車椅子を施設観覧に用いることで検討中



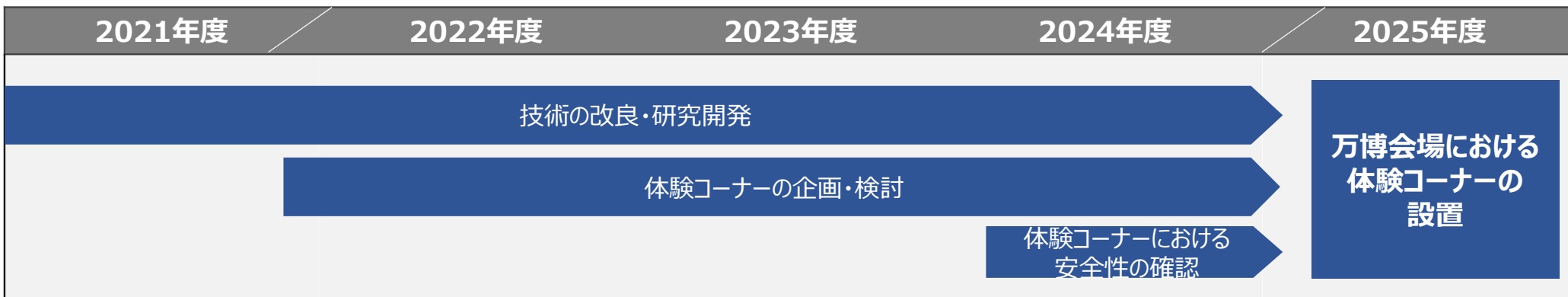
（例2） 排泄予測デバイスの体験

● 具体的な取組内容

- ・ 超音波センサーで、膀胱の尿のたまり具合をとらえ、スマートデバイスなどにトイレのタイミング等を事前にお知らせする、高齢者向け排泄予測デバイスを子ども等にも活用できる。



> 工程表



連絡先 厚生労働省医政局経済課
03-3595-2421
厚生労働省医薬・生活衛生局
医療機器審査管理課
03-3595-2419

日本の先進的な医薬品等の情報発信

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iryoku/shinkou/index.html)

> 方針・実施概要

世界に先駆けて開発された日本の先進的な医薬品・医療機器等を展示し、我が国の医薬品・医療機器産業の研究開発力を世界に向けて効果的に情報発信していく。

併せて、医療機器や再生医療等製品の海外展開が見込まれるものについて、日本発の国際規格の制定に向けた評価法の開発等の支援をしていく。

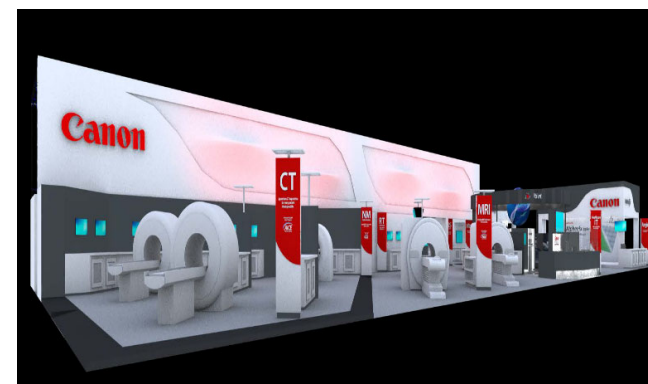
> 実装に向けた検討状況

(実施期間) 開催期間中

(実施場所) 会場内外のいずれかのエリア

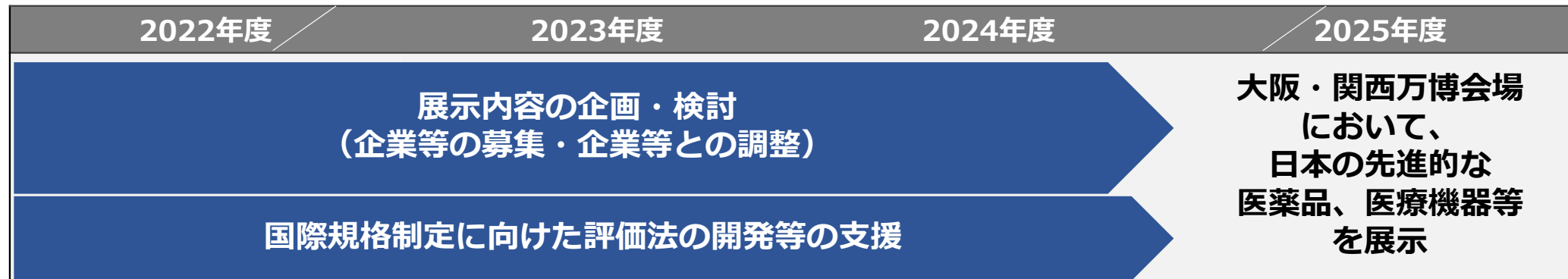
(実施主体) 検討中

(予算) 令和4年度予算額：137,682千円（関連事業「革新的医療機器等国際標準獲得推進事業」の予算額）



医療機器の展示イメージ図
(出典) 2022国際医用画像総合展 キヤノンメディカルシステムズ

> 工程表



障害者自立支援機器等開発促進

連絡先 厚生労働省社会援護局・障害保健福祉部企画課施設管理室
03-3595-2455
(<http://www.rehab.go.jp/ri/>)

> 方針・実施概要

国立障害者リハビリテーションセンターでは、障害者の自立と社会参加の促進、QOLの向上に寄与することを目的に、障害者のニーズを的確に反映した支援機器及び支援技術の研究・開発活動を実施している。

こうした取組みの成果を大阪・関西万博で展示・PRし、効果的な情報発信を行う。

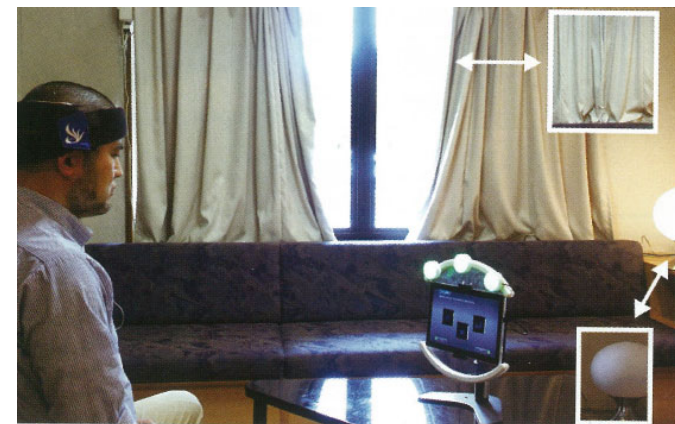
> 実装に向けた検討状況

(実施期間) 開催期間中

(実施場所) 会場内（催事エリアまたはフューチャーライフパーク）

(実施主体) 国立障害者リハビリテーションセンター

(予算) 令和4年度予算額：140,170千円（関連経費「国立更生援護施設運営事業」（研究所分）の予算額）の内数



脳からの信号を利用した生活環境機器操作を実現

> 工程表

| 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
|------------------------|--------|--------|---------------------------|
| 先端技術を導入した支援機器の研究及び開発 | | | 大阪・関西万博において 研究成果を展示・PR |
| 新しいリハビリテーション技術の研究及び開発等 | | | |

優良なアイデア・事業の審査への参画（ヘルスケア ビジネスコンテストの開催）

連絡先 経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業課

03-3501-1790

<https://healthcare-innohub.go.jp/category/jhec/>

> 方針・実施概要

優れたヘルスケアベンチャーを発掘し、事業を加速するため、2016年より毎年実施。2025年は第11回目となる。（過去の受賞企業では、J-Startupへ6社選定、2社が上場）

万博会場では、ヘルスケアウィーク等と連動し、期間内にビジネスコンテストの最終審査プレゼンを実施するとともに、過去の受賞者等によるサービスの体験イベント等を検討。日本の優れたビジネスシーズを世界に発信し、国際展開の加速を狙う。

> 実装に向けた検討状況

（実施期間）開催期間中

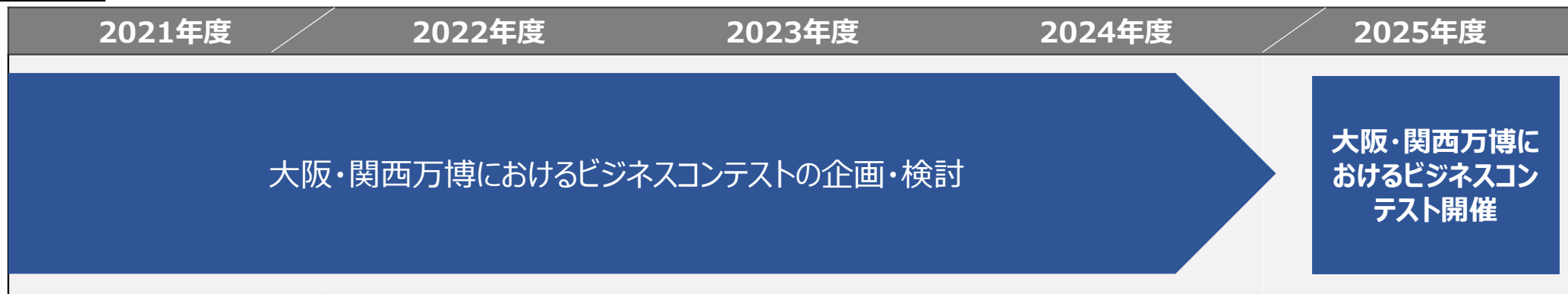
（実施場所）会場内

（実施主体）ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト運営事務局

（予算）-



> 工程表

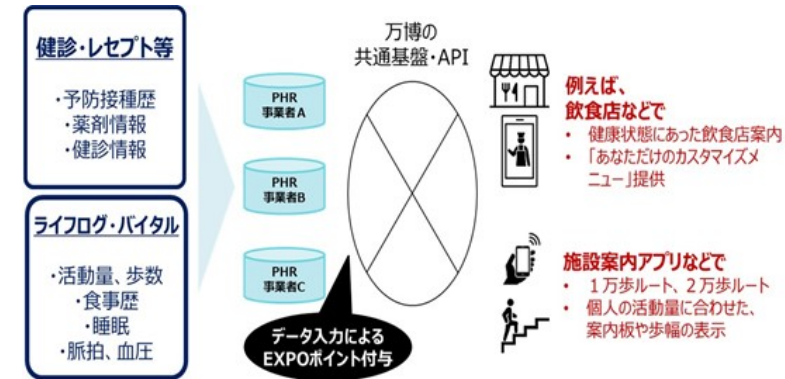


Personal Health Record（PHR）を活用した万博体験

> 方針・実施概要

博覧会協会において企画しているPHR事業について、経済産業省としても必要なサポートを実施。具体的には、以下を検討する。

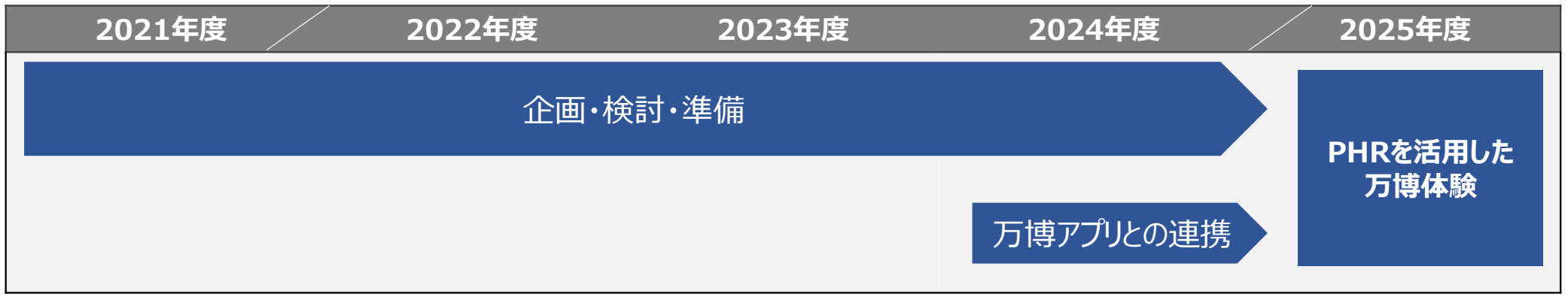
- ・開催前（ex.チケット販売時）から、各事業者が提供するPHRサービスへのデータ入力を推奨。入力者に対しては、「EXPOポイント」と連携したインセンティブを用意。
- ・万博の共通基盤・API（万博アプリ）により、会場内施設・サービスと円滑にデータ連携ができるような環境を整備し、PHRを活用することで、個々人の健康状態に即してカスタマイズされたサービス体験を可能に。
- ・共通基盤・API（万博アプリ）は、各自治体における“健康まちづくり”等への活用可能性も検討。



> 実装に向けた検討状況

- （実施期間）開催期間中
- （実施場所）会場内
- （実施主体）検討中
- （予算）-

> 工程表



介護ロボット等テクノロジーの普及

連絡先 厚生労働省老健局高齢者支援課

03-3595-2888

(<https://www.kaigo-pf.com/>

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000209634.html>)

> 方針・実施概要

介護現場における、テクノロジーの活用によるサービスの質の向上や職員の負担軽減といった生産性向上の推進を図るため、介護ロボット等テクノロジーの普及に向けた支援を行っている。

一層の普及を図るため、大阪・関西万博においては、会場内において先進的な介護ロボット等に関する効果的な情報発信を行う。

> 実装に向けた検討状況

(実施期間) 開催期間中

(実施場所) 会場内

(実施主体) 検討中

(予算) 令和4年度予算額：500百万円（関連事業「介護ロボット開発等加速化事業」の予算額）

(<https://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/22syokanyosan/dl/02-01.pdf>)



介護ロボットの活用により介護動作時の負担を軽減

> 工程表

2022年度

2023年度

2024年度

2025年度

展示内容の企画・検討

大阪・関西万博に
おいて
先進的な介護ロボット等に
関する展示等を実施

スマート・ライフ・プロジェクト～健康寿命を延ばそう！～

> 方針・実施概要

大阪・関西万博会場において、スマート・ライフ・プロジェクトを通じ、健康づくりに係る優れた取組を行う企業、団体、自治体を発表したり、参画団体の交流や好事例の横展開を行うことで、万博を契機としたより一層の国民や企業の健康意識の向上を図る。

また、5月31日の世界禁煙デーに始まる1週間を「禁煙週間」としており、万博会場において、禁煙及び受動喫煙防止の普及啓発を行う。



> 実装に向けた検討状況

(実施期間) 開催期間中

(実施場所) 会場内、WEB

(実施主体) 厚生労働省、地方公共団体

(予算) 令和4年度予算額：266百万円（関連経費「スマート・ライフ・プロジェクト推進事業費」及び「受動喫煙対策の普及啓発、相談対応経費」）の内数

(<https://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/22syokanyosan/dl/gaiyo-03.pdf>)



> 工程表



認知症バリアフリーの取組推進

連絡先 厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課

03-3595-2889

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/alzheimerday2021.html>

> 方針・実施概要

万博を契機に、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」を目指し、「認知症バリアフリー」社会の実現のための取組を推進するとともに広く社会全体に発信を行う。

具体的には、認知症に対する正しい知識と理解を広めるとともに、認知症があってもなくても同じ社会でともに生きる「共生」社会の実現に向けたメッセージを発信するため、万博を活用し、世界アルツハイマーデー及び月間（9月）とも連動させ効果的な普及啓発を行うとともに、関連するイベント等の開催について声かけを行う。

> 実装に向けた検討状況

（実施期間）開催期間中（特に世界アルツハイマー月間（9月）中）

（実施場所）検討中

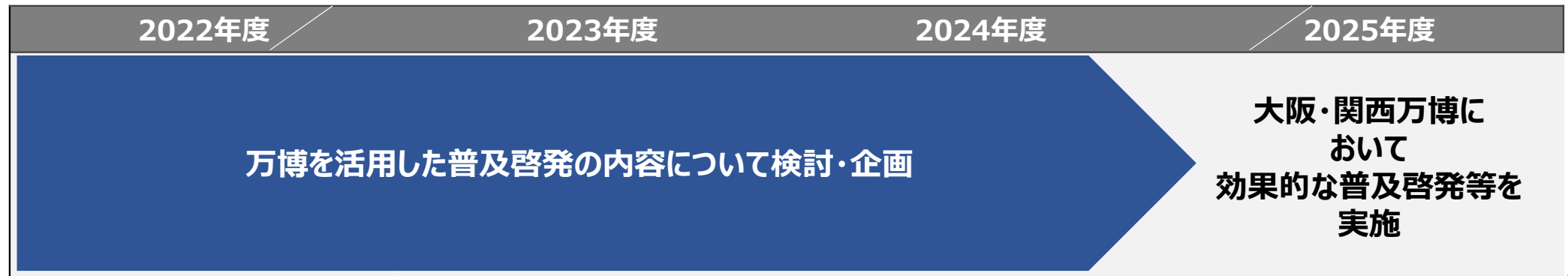
（実施主体）検討中

（予算）令和4年度予算額：－（具体的な実施内容について検討中のため）



令和3年度オレンジリングドレスアップ実施状況

> 工程表



世界にユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を発信

> 方針・実施概要

世界各国の開発目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」のターゲットの1つとしてユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成が位置づけられ、全ての人々が基礎的な保健医療サービスを受けられ、医療費を支払うことで貧困に至るリスクを未然に防ぐことが重要であることが確認された。

UHCの構成には、6つの要素（保健財政、サービス提供、保健人材、保健情報、医薬品・ワクチン・医療技術、リーダーシップ・ガバナンス）があり、各国においてこれらの要素を整備することが求められている。このため国民皆保険など、我が国が誇る、UHCの取組を世界に発信する。

> 実装に向けた検討状況

- （実施期間） 検討中
- （実施場所） 検討中
- （実施主体） 検討中
- （予算） 令和4年度予算額：－



※持続可能な開発目標（SDGs）
3「すべての人に健康と福祉を」において、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成がターゲットの1つとして位置づけられている。

> 工程表

| 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
|--------|---|--------|-------------------------|
| | 万博会場内外におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の具体的な発信内容について企画・立案 | | 大阪・関西万博の会場内外においてイベント等実施 |